

秋厚労ニュース

NO1802号

2017年11月9日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

若者なら 白線

かつの若者会議

9月28日(木)、鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会の地域調査として「かつの若者会議」の方に地域における若者の取り組みについてお話をうかがってきました。

地元を知り「田舎で楽しむ」を増やそう

田舎は遊ぶところがない、学びたいことを学ぶ環境がない、就職先がない、とマイナスのことばかりが目立ちます。若者の地域離れが深刻化する中、鹿角市では自分達の住む地元について話し合う場「かつの若者会議」があります。

地域に入り鹿角を知る

同市八幡平白欠集落の自治会で、集落のみんなが楽しめるような活動をしていこうと考える、石窯を作り出した。いずれば外からも人を呼んで交流したいとのことで若者会議に声がかかり、「雪見ピザの会」が実現しました。若者会議のメンバーが白欠集落では初めての受け入れという

鹿角を「若者目線」で見つめなおし、「鹿角暮らし」の楽しみを増やすことをテーマに地域活性化に取り組んでいます。職場と自宅の往復だけでは見つけられない、地元の楽

こともあり、実際の体験をふまえて「レシビ集を作ろう」「案内看板を設置してみよう」「どうか」など活発な意見交換・交流会になりました。また、活動の中には「鹿角の「鹿角の製作、鹿角のお産を考える」と題してグループワーク形式での話し合いなど、若者ならではの取り組みがあります。カルタの製作は公共施設等に用紙と投票箱を設置し、住民からも「鹿角弁」を募りました。

地元の魅力、後輩へ

鹿角では高校卒業後の進学先として自宅から通える距離にある大学は大館市にある秋田県看護福祉大学のみ。就職以外で地元に残る選択肢はほとんどありません。地元の中学校や高校の依頼を受け、地元を一度離れ戻ってきた自らの経験と、将来鹿

活動が楽しみのひとつ

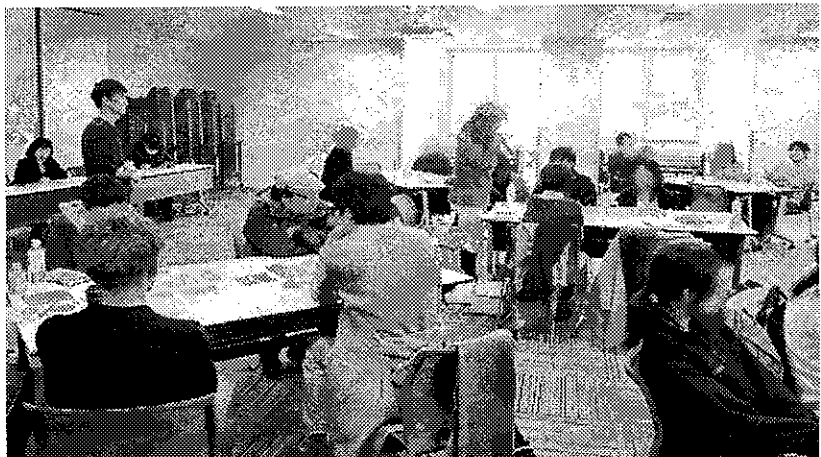
若者が意見を言える環境はなかなか多くありません。ひとりで行動できなくても仲間と集まり、同じ悩みについて考え、言葉にして初めて行動できます。

若者会議は主として市の公共施設を利用して行っています。地元の施設で地域の話に限らず同世代、さまざまな職種が集まり、話をする「若者会議」そのものが楽しみのひとつと言えます。

「かつの若者会議」は2014年12月、20代から40代の男女5人の有志により発足されました。現在、15人ほどがメインとなって活動しています。



白欠(しらかけ)集落の石窯



かつの若者会議「鹿角のお産を考える」2017.2.26